

グランモール公園が「^{うま}第5回美し国づくり大賞」を受賞しました！

美し国づくり大賞は、NPO 法人美し国づくり協会創立10周年記念事業として設立された賞です。地域の個性を活かした良好な景観の創出、地域創成に寄与し、これを後世に引き継ぐ活動を行っている優良事例をビフォー・アフターに主眼を置いて選定し、表彰を行うものです。（主催：特定非営利活動法人 美し国づくり協会）

このたびグリーンインフラを活用したグランモール公園の再整備が、**大賞**を受賞しましたので、お知らせします。

○ 受賞結果

■第5回 美し国づくり大賞

[受賞作品] 横浜市グランモール公園のグリーンインフラを活用した「みず循環回廊」

[受賞団体] 横浜市環境創造局、株式会社三菱地所設計、東邦レオ株式会社

[整備年度] 平成24～30年度

審査評

「みなとみらい21地区」の骨格を形成する3本の歩行者軸ひとつ“グランモール軸”の拠点「グランモール公園」は、周辺地区の開発に合わせて段階的に整備が進められてきた。当初開園から約30年が経ち、地区全体の賑わいの創出のため再整備を実施、特にハード面ではグリーンインフラの活用で新規性が認められる。公園の魅力アップ、埋立地ゆえの緑の少なさ、夏の暑さなど諸課題をもクリアしている。

隣接街区と一体となったオープンカフェの展開、エリアマネジメント団体主催の夏祭りや縁市などソフト面の取組も継続的に行われており、新たなライフスタイルの創造や賑わいの形成、地域の魅力の向上に寄与している。

このようなハードからソフトにわたる一連の取組の貢献は大きく高く評価される。

※グリーンインフラ：自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある都市づくりを進めるための社会資本。



グリーンインフラを活用し、憩い空間を創出



令和元年6月27日（木）に開催されたシンポジウムにおいて、表彰式が行われました。

◆再整備の概要

施設の老朽化への対応や周辺街区の発展、「横浜みどりアップ計画」における実感できる緑の創出、「環境未来都市・横浜」の「みなとみらい2050」プロジェクトの取組の1つとして再整備を実施しました。

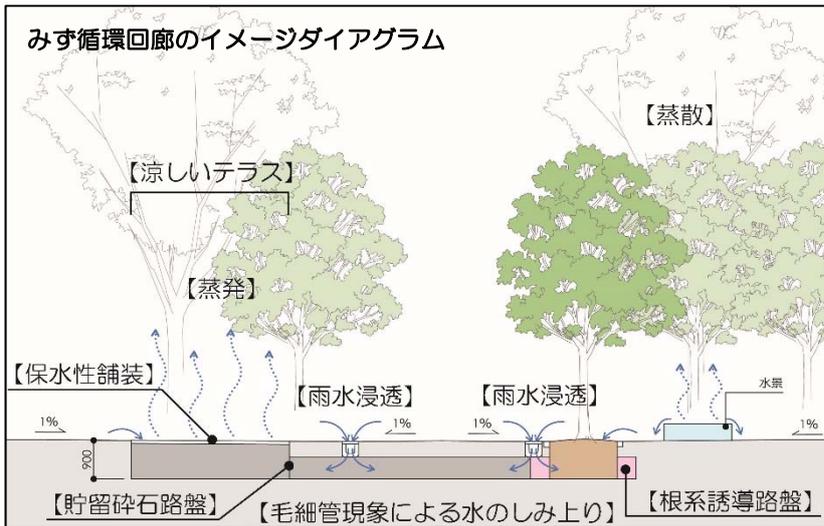
「Rambling Park～歩行者軸を超え、憩いと賑わいのあふれる公園へ～」をコンセプトに、官民一体となった新たな公園像の実現による公園の魅力向上を図りました。平成29年に開催された「第33回全国都市緑化よこはまフェア」のみなとガーデン会場の1つともなりました。

公園の持つ「約700mの全長にわたり様々な用途の建築敷地に接し、かつ開かれている」という特徴を生かし、基本構成として公園と隣接敷地の接点に中間領域を設定し、人々のそぞろ歩きを誘うデザインと、グリーンインフラを全面的に導入するなど、横浜、みなとみらい21地区を代表する公園として、生まれ変わりました。

◆グリーンインフラの活用

心地よさを体感できる緑空間を創造するためにグリーンインフラを導入しました。導入にあたって雨水を利用し環境改善を体感できるように還元するシステムを「みず循環回廊」と名付け、構築しました。これは雨水の貯留浸透の促進と耐圧路盤、植栽基盤としての機能を持つ技術（雨水貯留砕石）で水の垂直方向の循環を実現し、樹木や保水性舗装と連動した打ち水効果（蒸発散）により、夏の涼しさの創出、樹木の良好な生育、緑陰の形成を促し、憩い・賑わい空間の形成を図るものです。

整備前後に行った環境調査では、最大で5度程度気温が抑えられていること等の効果が確認されました。



◆公園概要

公園名	グランモール公園	所在地	横浜市西区みなとみらい三丁目
公園種別	近隣公園	公開年	平成3年（1991年）
公園面積	23,102 m ²	延長	約700m

◆これまでの経緯

平成24年度～26年度	計画・設計、市民意見募集・ヒアリング、熱環境等調査
平成27年度～29年度	再整備工事
平成29年春（2017年）	第33回全国都市緑化よこはまフェア（都心臨海部会場のひとつ）
平成30年春（2018年）	全面リニューアルオープン（主要な再整備工事完了）

お問合せ先	
環境創造局公園緑地整備課長	鈴木 幸子 Tel 045-671-2614